

計 画 体 系	基本目標	3 地域におけるネットワークの構築
	基本施策	(3)医療と介護の連携強化
	主な事業	⑦地域住民への普及・啓発【重点】

現行計画の内容

○ 自分の人生を主体的に生きるために、在宅医療や介護に関する制度やサービスについて、わかりやすく情報提供できるよう、各種リーフレット、ホームページなどによる普及・啓発とともに、地域出張講座や市民フォーラムなどを開催します。

令和4年度の実績状況、取り組むにあたっての問題・課題

- ①地域出張型在宅医療介護セミナーについて
 - ・計2回実施し、合計25名にご参加頂いた。
 - 内訳：R5.1.19 知っ得！かかりつけ歯科医師について(池田下町)
 - R5.3.25 知っ得！介護保険について(いぶき野)
 - ・講座メニュー「人生会議(ACP)」追加。
- ②市民フォーラムについて
 - ・R4年12月25日に認知症・医療と介護の連携推進合同市民フォーラムを開催、130名参加。
 - 内容は、映画「長いお別れ」上映会とアフタートーク。
 - アフタートークの座長は東條周子医師に務めて頂き、和泉市医療と介護の連携推進審議会代表として泉谷 良会長、認知症地域で支え愛を考えるまちづくり連絡会代表として鹿島 洋一会長に登壇頂いた。
 - ・フォーラムでは「ひとり暮らし高齢者など緊急入院時に備えた覚書」(以下、「覚書」)の周知も行い、参加者にご協力頂いたアンケートでは「覚書」について活用できそうかという問に対し、77.5%の方に「そう思う・まあまあそう思う」と答えて頂いた。
- ③訪問看護ステーション連絡会主催の和泉まちの保健室について
 - ・年6回開催
 - ・相談件数：合計8件(窓口相談：5件、電話相談：3件)
- ④「在宅医療でできること」のチラシ作成進行。

(問題・課題)

- ①について
 - コロナ禍の影響も受け、申し込みが少なく、開催回数が少なかった。
 - また、新講座メニュー「人生会議(ACP)」の開催に至らなかった。
 - 周知に課題。
- ②について
 - 「覚書」の周知を行ったが、実際に市民に活用してもらえているか不明。
 - 周知に課題。また、市民が使いやすい様子に見直しも必要。
- ③について
 - 相談件数が少ない。
 - 周知に課題。
- ④について
 - 全シリーズ完成していない。

令和5年度の実績計画(予定も含む)

- ①②③、いずれの実績についても、周知に課題があり、市民が取り組みを利用する件数が少ない。
 - ⇒令和5年度は、周知先・周知回数を拡大し、地域包括支援センターにもより周知活動に協力頂く。
 - (町会連合会町会長、民生児童委員協議会、社会福祉協議会 校区会長会・ボランティア連絡会・老人クラブ役員会など)
- ②について
 - 2月4日にシティプラザで開催を予定。「人生会議」と「覚書」について、市民や高齢者にかかわる支援者に周知

し、活用してもらうことを目的として開催。関係機関の協力を得て、第1部：人生会議に関する基調講演、第2部：専門職のシンポジウム、第3部：市民と医療介護の専門職が「人生会議」や「覚書について」談話 の3部構成でを案として調整中。

④「在宅医療でできること」のチラシを作成し、シリーズとして発行し、必要時、市民に配布する。
また、ホームページ掲載を行う。

(その他)「人生会議」について、「覚書」や知っ得！講座の活用を通して、市民啓発を行う。

【事業実績(例：参加人数、実施回数、配布数など)】

事業名	市民フォーラム		
区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
開催回数(回)	1	1	1
参加人数	47	130	100

※令和5年度は見込

【事業実績(例：参加人数、実施回数、配布数など)】

事業名	地域出張型在宅医療介護セミナー		
区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
開催回数(回)	2	2	12
参加人数	37	25	120

※令和5年度は見込